

かなぎん  
2014

ミニディスクロージャー  
平成25年度 営業のご報告



株式会社 神奈川銀行

平素より神奈川銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

この度、当行をより一層ご理解いただき、身近な銀行としてご利用いただけるよう、本誌を発刊いたしました。本誌では当行の経営方針や業務の内容などを紹介しておりますのでご参考にしていただければ幸いです。

昨今の国内経済情勢は、消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも、景気は緩やかに回復を続けております。企業の生産活動においても、企業収益が改善するなかで持ち直しております。個人消費につきましても、雇用・所得環境が改善するもとで底堅く推移しています。

金融業界においては、金融機関の国内貸出残高は増加傾向にあるものの、貸出金利は引き続き低水準で推移しており、地域金融機関にとりまして厳しい経営環境は続いております。

このような状況のもと、当行では、3か年に亘る中期経営計画『かなぎん Next Stage』を進めております。本計画では、「お客さまや地域社会との共存・共栄」、「健全経営の堅持」、「経営管理態勢の強化」、「組織力の強化」の4項目を当行の目指すべき将来像として掲げております。今年度は本計画の最終年度であり、計画達成に向けて、役職員全員が一丸となって努力しております。

そうしたなか、お客さまに更なる充実した商品・サービスを提供することを目的として、お客さまの大切な「退職金」を有効に運用していただけるよう、『退職金定期預金 $\alpha$ （アルファ）』の取扱いを開始する等、商品の充実にも注力しております。

また、地域金融機関として、金融円滑化にも鋭意取組みを行い、中小企業者や住宅ローン利用者の皆さまからのご相談に真摯に対応するとともに、多様化・複雑化する中小企業の経営課題に対し専門性の高い支援の提供に取組んでおります。

このたび取締役頭取に三村智之が就任いたしました。取締役会長の白石博之との新体制のもと、「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」を変わらぬ私たちの理念とし「地域に存在感のある銀行」を目指して、より一層の努力をしてみたいです。

どうか地元とともに歩む神奈川銀行に、今後とも、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



取締役会長

白石博之



取締役頭取

三村 智之

## 目 次

ごあいさつ	1
経営方針	3
経営内容	4
地域貢献	6
株式会社のご案内	8
営業店一覧	8
財務諸表	9

## かなぎんの歩み

昭和28年	7月	株式会社神奈川相互銀行設立（資本金50百万円）
	8月	横浜市中区弁天通4-62において営業開始
昭和30年	5月	神奈川県中小企業会館内に本店移転
昭和51年	6月	預金業務オンライン開始
昭和53年	11月	新本店（現在地）完成、移転
昭和60年	10月	外国為替業務開始
昭和62年	6月	有価証券売買業務開始
平成元年	4月	普通銀行へ転換、株式会社神奈川銀行となる
平成 3年	1月	サンデーバンキング開始
平成 7年	1月	信託代理店業務開始
	7月	株式会社かなぎんビジネスサービス（現・連結子会社）設立
平成10年	1月	オンラインシステム「STAR-ACE」開始
	12月	証券投資信託の窓口販売業務開始
平成12年	10月	第三者割当増資により新資本金51億91百万円
平成13年	4月	住宅ローン関連の長期火災保険の窓口販売業務開始
平成14年	10月	個人年金保険の窓口販売業務開始
平成17年	12月	横浜銀行とのATM提携サービスを開始
平成18年	7月	株式会社かなぎんオフィスサービス（現・連結子会社）設立
平成19年	3月	セブン銀行とのATM提携サービスを開始
平成22年	2月	新店舗「高座渋谷支店」オープン
	12月	学資保険及び終身保険の窓口販売業務開始
平成24年	7月	新オンラインシステム「STELLA CUBE」開始

## プロフィール

名	称	：株式会社 神奈川銀行							
設	立	：昭和28年7月30日 （営業開始：昭和28年8月14日）							
本	店	所 在 地	：横浜市中区長者町9-166						
資	本	金	：5,191百万円						
預	金	：4,091億円							
貸	出	金	：3,094億円						
自	己	資	本	比	率	：8.36%（単体、国内基準）			
店	舗	数	：34店舗						
従	業	員	数	：377人					
ホ	ム	ペ	ー	ジ	ア	ド	レ	ス	：http://www.kanagawabank.co.jp （平成26年3月31日現在）

# 経営方針

## 第9次中期経営計画「かなぎん Next Stage」平成24年4月1日～平成27年3月31日（3か年計画）

当行では第9次中期経営計画「かなぎん Next Stage」を策定し、平成24年4月1日から実施しております。「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」を永続的な私たちの理念とし、「地域に存在感のある銀行」を目指して、各種施策を実施してまいります。

### 私たちの理念

地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行

### 当行の目指すべき将来像

地域に存在感のある銀行を目指して

お客さまや  
地域社会との  
共存・共栄

健全経営の堅持

経営管理態勢の  
強化

組織力の強化

### 重点戦略

- 地域密着型金融の推進
- 金融円滑化の推進
- CSの向上

- コンプライアンスの徹底
- リスク管理態勢の強化
- 新システムの安定稼働

- 収益力の強化
- 効率的経営の確立
- 不良債権の圧縮および発生防止

- 活力のある組織の確立
- 人材育成

### 計数目標（平成27年3月末）

融資量

3,100億円以上  
（未残）

資金量

4,100億円以上  
（未残）

当期純利益

3億円以上

コア資本比率

8%以上

不良債権比率

4%台

# 経営内容

## 1 平成25年度業績の概要

### 損益状況

(単位：百万円)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
業務純益	1,663	1,313	1,338
臨時損益	△ 984	△ 4,840	449
うち不良債権処理額	671	3,561	37
経常利益 (△は経常損失)	678	△ 3,526	1,787
当期純利益 (△は当期純損失)	311	△ 3,572	980

### 預金・貸出金等

(単位：百万円)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
預金残高	402,071	402,929	409,116
貸出金残高	285,871	294,530	309,496
自己資本比率 (単体)	10.38%	8.41%	8.36%

### ●損益状況

銀行の本業から生じる業務純益につきましては、13億38百万円となりました。

資金の効率的調達・運用による収益力の向上に取組んだほか、不良債権処理額の減少や経費の削減に努めたことなどにより、経常利益は17億87百万円、当期純利益は9億80百万円となりました。

### ●預金

預金は、地域密着型の営業態勢を推進した結果、前年に比べて61億87百万円増加し、4,091億16百万円となりました。

### ●貸出金

貸出金は、地元企業向けの融資および住宅ローンを積極的に推進した結果、前年に比べて149億66百万円増加し、3,094億96百万円となりました。

## 2 自己資本比率について

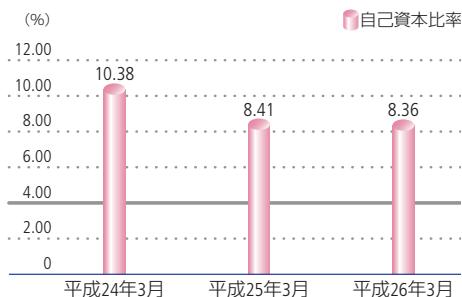
自己資本比率は、自己資本の総資産（リスクアセット）に対する割合で、銀行の健全性を示す基本的かつ重要な指標です。

当行の平成26年3月末の自己資本比率は、単体8.36%（連結8.38%）と国内基準行が健全とされる4%を大きく上回っています。

なお、平成26年3月末から、パーゼルⅢを踏まえた新国内基準を適用し、自己資本比率（コア資本比率）を算出しております。

今後も良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の一層の向上に努めてまいります。

### 自己資本比率の推移



### 3 不良債権の状況

#### ●● 不良債権の処理状況について

当行では資産の健全化を経営の重要課題と位置づけ、不良債権への取組みを強化しております。

平成25年度におきましても、お客さまの信頼をより強固なものとするため、将来のリスクに備えて適正に資産査定を行い、償却・引当を実施いたしました。

その結果、金融再生法の開示基準による不良債権は171億円となり、総与信に対する比率は5.51%となりました。また、これらの債権に対する担保・保証等保全額及び貸倒引当金による保全率は86.8%となっております。

#### ●● 金融再生法に基づく資産査定額ならびに保全状況

(単位：億円)

区 分	平成24年度		平成25年度			
	債権残高	債権残高 A	担保・保証等 保全額	貸倒引当金	保全引当金計 B	保全率 B/A (%)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	23	19	4	23	100.0
危険債権	169	142	74	48	122	85.6
要管理債権	5	4	1	0	2	54.2
小計	206	171	95	53	148	86.8
正常債権	2,746	2,930				
合計	2,953	3,101				

※ これらの債権は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」第6条に基づき区分し、同法律第7条に基づき公表しています。

### 4 金融円滑化への取組みについて

当行は、地域金融機関として、中小企業のお客さまの経営課題や個人のお客さまのライフサイクルに応じた支援を最重点施策の一つとして位置付けております。

当行は、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の期限到来後もこれまでと同様に、お借入をご利用のお客さまからのご相談に真摯かつ迅速に取り組んでまいります。

各営業店にはお客さまからのお借入条件変更等のご相談をお受けする「融資ご返済相談窓口」を設置し、「融資ご返済相談窓口担当者」を配置しています。

また、金融円滑化に関するご意見・ご要望・苦情等については各営業店に配置している「お客さま相談員」のほか、本部コンプライアンス統括部内の「お客さま相談窓口」が承ります。

<ご利用中のお借入のご返済に関するご相談>

○お取引のある店舗の「融資ご返済相談窓口担当者」までご相談ください。

(連絡先は8ページの「営業店一覧」をご覧ください。)

受付時間：<お電話>午前9時から午後5時まで (銀行休業日は除きます)

<窓 口>午前9時から午後3時まで (銀行休業日は除きます)

<ご意見・ご要望・苦情等>

○各営業店の「お客さま相談員」または本店「お客さま相談窓口」(045-261-2641代表)が承ります。

受付時間：<お電話>午前9時から午後5時まで (銀行休業日は除きます)

## 1 地域への信用供与

当行は地域金融機関として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金の多くを、地元である神奈川県内の中小企業や個人への貸出に向けています。

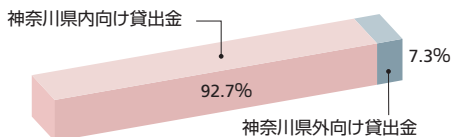
### ●●● 県内貸出に特化

当行の神奈川県内のお客さま向け貸出金残高は2,870億円であり、貸出金全体に占める割合は92.7%となっております。

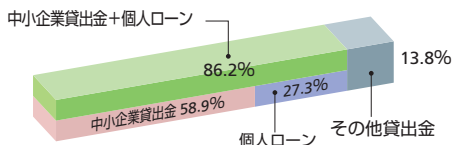
### ●●● 個人・中小企業貸出に特化

個人・中小企業向け貸出金残高は2,667億円であり、貸出金全体に占める割合は86.2%となっております。

神奈川県内向け貸出金割合（平成26年3月31日現在）



個人・中小企業向け貸出金割合（平成26年3月31日現在）



### ●●● 経営改善支援

本部企業支援室と各営業店が連携し、お取引先とのコミュニケーションを密にすることで、経営改善計画の作成・実行などのサポートを行っています。

また、第二地方銀行協会などが主催する事業再生研修への参加や、融資渉外担当者を対象とした行内研修を実施するなど、行員のスキルアップを図っております。

平成25年度は、ご支援先82先に対し、債務者区分のランクアップ6先という実績でした。

債務者区分		経営改善支援 取組み先	うち期末に債務者区分	
			が上昇した先	が変化しなかった先
正常先		1	—	—
要注意先	その他要注意先	63	3	60
	要管理先	—	—	—
破綻懸念先		17	3	13
実質破綻先		1	—	1
合計		82	6	74

## 2 地域サービスの充実

### ●●● 商品の充実

皆さまの大切な「退職金」を有効に運用していただけるよう、平成26年3月に金利上乘せ定期預金「退職金定期預金 $\alpha$  (アルファ)」の取扱いを開始しました。詳しくは当行本支店の窓口にお問い合わせ下さい。今後も、商品の種類・内容を充実させることで、一層のサービス向上に努めてまいります。



### ●●● 地域貢献活動

NPO法人こどもネットミュージアムが主催する「第18回夢絵コンテスト2014」を後援しました。このコンテストは、神奈川県内の子どもたちに「情報化社会の夢～ぼくたち、わたしたちの未来の世界～」をテーマに絵を描いてもらい、未来への夢を描く機会をつくり、想像力豊かな子どもに育つことを目的としております。



〈平成26年3月に開催された表彰式〉

### ●●● 地域行事に参加

地域密着型金融機関として、各地域で開催される様々な行事に参加することで、地域の皆さまとの、ふれあいの輪を広げ、交流を深めています。



〈地元警察署主催の防犯キャンペーンに参加〉



## 株式会社のご案内

### 1. 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### 2. 定時株主総会

毎事業年度末日から3カ月以内に開催いたします。

### 3. 配当金

(1) 期末配当金は、3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、取締役会の決議によりお支払いいたします。

(2) 中間配当金は、取締役会の決議により9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。

なお、期末配当金及び中間配当金のお受け取りは、お近くの当行本店の預金口座振込をご指定くださいますと早くして便利ですのでご利用ください。

### 4. 株式事務取扱場所及び取次所

株式の名義書換え、単元未満株式の買取り、その他株式に関する事務は、下記株主名簿管理人においてお取り扱いいたします。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

【郵便物送付先／各種お問合せ先】

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (通話料無料)

〔受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕

ホームページアドレス：http://www.tr.mufug.jp/daikou/

### 5. 公告掲載新聞

横浜市において発行する神奈川新聞に掲載いたします。

## 営業店一覧

店舗名	所在地	電話番号
本店	横浜市中区長者町9-166	(045) (261) 2641(代)
洪福寺支店	横浜市西区浅間町5-384-1	(045) (311) 3021(代)
横浜橋通支店	横浜市南区真金町1-1	(045) (231) 7035(代)
上大岡支店	横浜市港南区大久保1-20-54	(045) (842) 1861(代)
六角橋支店	横浜市神奈川区六角橋2-28-22	(045) (481) 6345(代)
中田支店	横浜市泉区中田南3-1-7	(045) (802) 1365(代)
富岡支店	横浜市金沢区富岡西7-15-17	(045) (771) 3651(代)
井土ヶ谷支店	横浜市南区井土ヶ谷上町21-36	(045) (712) 2111(代)
芹ヶ谷支店	横浜市港南区芹が谷2-8-33	(045) (823) 1351(代)
蒔田支店	横浜市南区榎町2-41	(045) (742) 2611(代)
本牧支店	横浜市中区本牧三之谷3-23	(045) (623) 3811(代)
末吉支店	横浜市鶴見区上末吉5-5-22	(045) (575) 2323(代)
瀬谷支店	横浜市瀬谷区南台2-11-3	(045) (303) 0321(代)
岡村支店	横浜市磯子区岡村8-1-28	(045) (761) 3314(代)
根岸支店	横浜市磯子区西町4-19	(045) (754) 3311(代)
弥生台支店	横浜市泉区弥生台13-6	(045) (813) 3711(代)
横浜西口支店	横浜市神奈川区鶴見町2-23-2 TSプラザビル1F	(045) (411) 2011(代)
(住コ-ンセンター)	横浜西口支店内	(045) (411) 2027(代)
戸部支店	横浜市西区中央1-8-20	(045) (319) 1385(代)
センター北支店	横浜市都筑区中川中央1-29-24	(045) (910) 2230(代)
(住コ-ンセンター)	センター北支店内	(045) (911) 0808(代)
横須賀支店	横須賀市日の出町1-15-1	(046) (823) 1480(代)
長井支店	横須賀市長井1-17-20	(046) (856) 3141(代)
平塚支店	平塚市平塚2-31-9	(0463) (31) 2981(代)
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市共恵1-2-24	(0467) (82) 7171(代)
(住コ-ンセンター)	茅ヶ崎支店内	(0467) (87) 8411(代)
辻堂支店	藤沢市辻堂1-1-15	(0466) (36) 3155(代)
藤沢支店	藤沢市鶴沼石上1-5-7	(0466) (23) 2641(代)
六会支店	藤沢市亀井野2-3-1	(0466) (82) 0551(代)
川崎支店	川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル1F	(044) (244) 7538(代)
中原支店	川崎市中原区市ノ坪30-1	(044) (722) 9121(代)
渡田支店	川崎市川崎区渡田向町29-16	(044) (245) 9781(代)
相模台支店	相模原市南区松が枝町24-10	(042) (743) 4511(代)
下大槻支店	秦野市下大槻410	(0463) (77) 2567(代)
桜ヶ丘支店	大和市福田5528	(046) (268) 1001(代)
高村支店	平塚市高村203	(0463) (34) 1011(代)
高座渋谷支店	大和市福田2021-2	(046) (267) 9921(代)

(平成26年5月31日現在)

# 財務諸表 (連結・単体)

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	5,400	預金	409,044
コールローン及び買入手形	10,305	譲渡性預金	800
有価証券	115,782	借入金	7,120
貸出金	309,496	その他負債	2,352
外国為替	66	賞与引当金	71
その他資産	1,007	退職給付に係る負債	786
有形固定資産	4,866	睡眠預金払戻損失引当金	56
建物	1,503	再評価に係る繰延税金負債	603
土地	2,738	支払承諾	399
リース資産	177	<b>負債の部合計</b>	<b>421,235</b>
その他の有形固定資産	446	<b>(純資産の部)</b>	
無形固定資産	44	資本金	5,191
ソフトウェア	16	資本剰余金	4,101
その他の無形固定資産	28	利益剰余金	8,712
繰延税金資産	829	自己株式	△50
支払承諾見返	399	株主資本合計	17,954
貸倒引当金	△6,814	その他有価証券評価差額金	1,377
資産の部合計	441,384	土地再評価差額金	916
		退職給付に係る調整累計額	△99
		その他の包括利益累計額合計	2,194
		<b>純資産の部合計</b>	<b>20,149</b>
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>441,384</b>

## 連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	金額
経常収益		8,778
資金運用収益	7,011	
貸出金利息	6,133	
有価証券利息配当金	862	
コールローン利息及び買入手形利息	11	
預け金利息	1	
その他の受入利息	2	
役員取引等収益	889	
その他業務収益	224	
その他経常収益	653	
貸倒引当金戻入益	54	
償却債権取立益	30	
その他の経常収益	567	
経常費用		6,982
資金調達費用	247	
預金利息	236	
譲渡性預金利息	0	
借入金利息	5	
その他の支払利息	5	
役員取引等費用	423	
その他業務費用	116	
営業経費	6,037	
その他経常費用	157	
その他の経常費用	157	
経常利益		1,795
特別損失		7
固定資産処分損	7	
税金等調整前当期純利益		1,788
法人税、住民税及び事業税	379	
法人税等調整額	423	
法人税等合計		802
少数株主損益調整前当期純利益		985
当期純利益		985

第89期 貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

<単体>

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	5,400	預金	409,116
現金	4,474	当座預金	12,582
預け金	926	普通預金	176,435
コールローン	10,305	貯蓄預金	6,308
有価証券	115,802	通知預金	1,432
国債	48,850	定期預金	210,875
地方債	30,194	定期積金	250
社債	29,970	その他の預金	1,231
株式	6,575	譲渡性預金	800
その他の証券	210	借入金	7,120
貸出金	309,496	借入金	7,120
割引手形	3,611	未払法人税等	385
手形貸付	30,607	未払費用	196
証書貸付	255,508	前受収益	328
当座貸越	19,768	給付補填備金	1
外国為替	66	リース債務	182
外国他店預け	66	その他の負債	1,252
その他資産	1,004	賞与引当金	71
未収収益	307	退職給付引当金	632
その他の資産	697	睡眠預金払戻損失引当金	56
有形固定資産	4,866	再評価に係る繰延税金負債	603
建物	1,503	支払承諾	399
土地	2,738	負債の部合計	421,147
リース資産	177	<b>(純資産の部)</b>	
その他の有形固定資産	446	資本金	5,191
無形固定資産	44	資本剰余金	4,101
ソフトウェア	16	資本準備金	4,101
その他の無形固定資産	28	利益剰余金	8,662
繰延税金資産	774	利益準備金	1,090
支払承諾見返	399	その他利益剰余金	7,572
貸倒引当金	△6,814	別途積立金	6,492
資産の部合計	441,347	繰越利益剰余金	1,079
		自己株式	△50
		株主資本合計	17,905
		その他有価証券評価差額金	1,377
		土地再評価差額金	916
		評価・換算差額等合計	2,294
		純資産の部合計	20,199
		負債及び純資産の部合計	441,347

第89期 損益計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

<単体>

(単位：百万円)

科目	金額	
経常収益		8,779
資金運用収益	7,011	
貸出金利息	6,133	
有価証券利息配当金	862	
コールローン利息	11	
預け金利息	1	
その他の受入利息	2	
役務取引等収益	889	
受入為替手数料	357	
その他の役務収益	532	
その他業務収益	224	
外国為替売買益	3	
商品有価証券売却益	0	
国債等債券売却益	221	
国債等債券償還益	0	
その他経常収益	653	
貸倒引当金戻入益	54	
償却債権取立益	30	
株式等売却益	432	
金銭の信託運用益	1	
その他の経常収益	134	
経常費用		6,991
資金調達費用	247	
預金利息	236	
譲渡性預金利息	0	
借入金利息	5	
その他の支払利息	5	
役務取引等費用	423	
支払為替手数料	100	
その他の役務費用	323	
その他業務費用	103	
国債等債券売却損	19	
国債等債券償還損	84	
営業経費	6,059	
その他経常費用	157	
貸出金償却	37	
その他の経常費用	119	
経常利益		1,787
特別損失		7
固定資産処分損	7	
税引前当期純利益		1,780
法人税、住民税及び事業税	375	
法人税等調整額	423	
法人税等合計		799
当期純利益		980



# かなぎん

「かなぎん2014 ミニディスクロージャー誌」  
平成25年度 営業のご報告  
平成26年6月発行

発行編集 神奈川銀行 総合企画部  
〒231-0033 横浜市中区長者町9-166  
TEL 045-261-2641